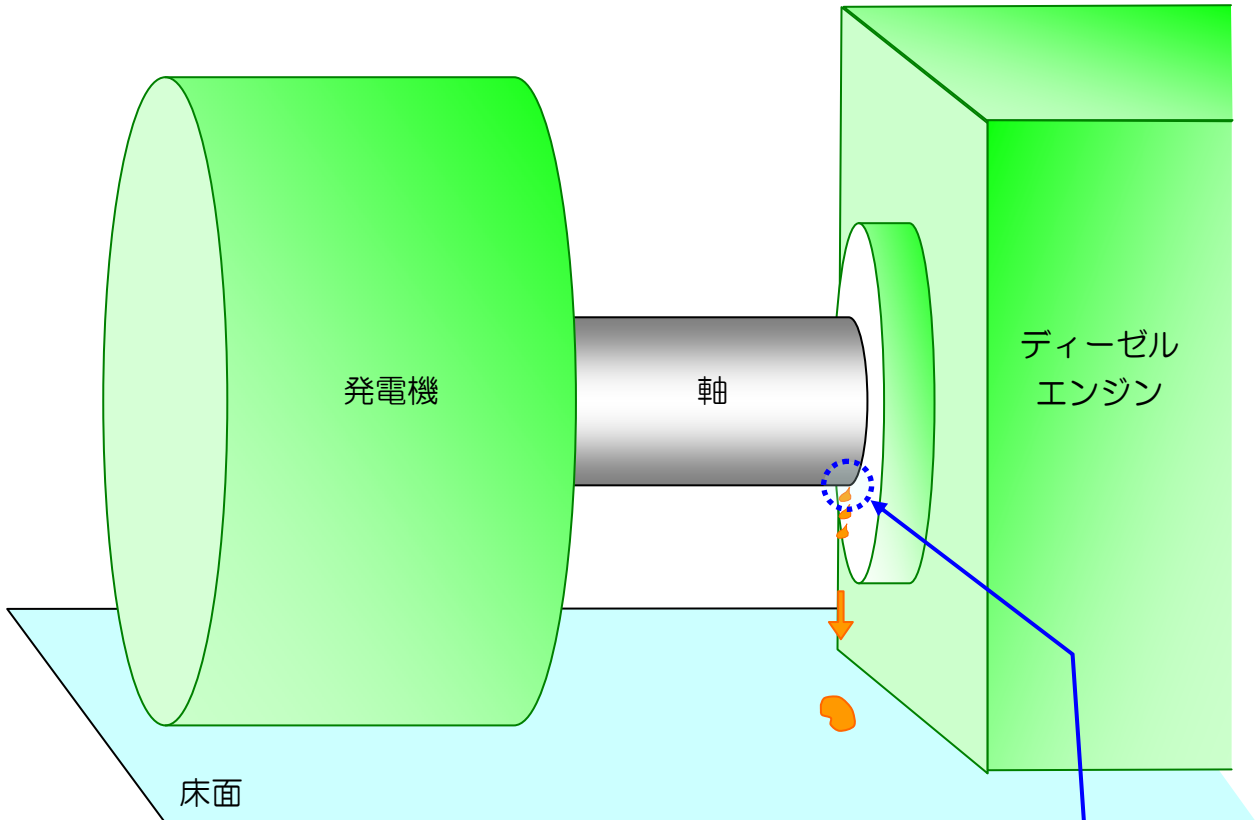


**区分：Ⅲ**

場所	3号機	
件名	原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の3号機において、平成22年5月27日午後2時26分頃、非常用ディーゼル発電機* (A) の定例試験中に、原子炉建屋地下1階(非管理区域)のディーゼルエンジンと発電機の連結部から、潤滑油が床面に滴下していることを、当社社員が発見しました。床面に漏れた潤滑油は約80ミリリットルでした。</p> <p>(安全性、外部への影響) 非常用ディーゼル発電機の運転状態に異常はありませんでした。また、漏れた油には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部へ放射能の影響はありません。</p> <p>* : 非常用ディーゼル発電機 所内電源喪失時に所内へ電源を供給するためのディーゼルエンジン駆動の非常用発電機。 ディーゼル発電機は3台設置されている。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p>&lt;安全上の重要度&gt; 安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p>&lt;損傷の程度&gt; <input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>非常用ディーゼル発電機を停止したことにより、潤滑油の滴下は停止しました。 漏れた油については、拭き取りによる清掃を実施しました。 本日、現場を調査した結果、オイルシール部のつなぎ目に僅かな開きが確認されたことから、当該部から潤滑油の漏えいが発生したものと推定しました。今後、オイルシールの交換を実施します。</p>	

柏崎刈羽原子力発電所3号機  
原子炉建屋（非管理区域）における潤滑油漏れについて  
非常用ディーゼル発電機（A）概略図



漏えい箇所

